

外国人雇用事業所等へのヒアリングの概要

1 実施時期：令和6年9月4日（水）～令和6年9月12日（木）

2 ヒアリングの概要

【村山地域】

業種	・介護業（社会福祉法人）
外国人従業員	・12人（全員が特定技能） ベトナム4人、インドネシア6人、モンゴル2人
住環境	・借上げの一軒家、1DKのアパートなど
通勤	・街中にある施設に勤務している者は、自転車や徒歩 ・街中から離れている施設の場合は車で送迎 送迎はシフトを組んで職員が対応
生活	・買物や休日の移動手段は自転車か徒歩 ・相乗りでタクシーを使うこともある ・各施設に生活支援の担当者を配置 ・ごみの分別については、ごみの写真等により説明
日本語	・月2回、日本人職員による日本語教室を実施 ・2,000円／月のアプリやドラマ、アニメ、YouTube等で自主学习
地域との交流	・近隣住民とは挨拶程度 ・祭りや清掃などの地域の活動に関わることはない
行政へ望む支援	・外国人を受け入れてくれる民間アパートが少ない、受け入れてくれる住居を増やすための取組みを行ってほしい ・法人を通さない家賃の補助や、タクシー券の助成、一定金額をチャージしたチェリカの配布等山形独自のメリットを打ち出してほしい ・山形県は銀山温泉と蔵王温泉、桜くらいしか知られていないので今以上に情報発信をしてほしい

【最上地域】

業種	・食品製造業（株式会社）
外国人従業員	・12人 技能実習1号3人、同2号3人、特定技能2人（インドネシア） 日本人の配偶者（永住者）4人（中国3人、ルーマニア1人）
住環境	・会社所有の寄宿舍、会社契約の賃貸
通勤	・車で送迎
生活	・食事は自炊（ハラールには困っていない） ・ごみ出しは最初に厳しく指導 ・病気になったときは専務が病院に同行、技能実習生が病院に行くときは、日本語がわかる他の外国人従業員が同行
日本語	・1年目に新庄市民プラザの日本語教室に会社負担で通わせている
地域との交流	・特になし
行政へ望む支援	・特定技能2号に移る際のハードルが高いので要件を緩和してほしい ・新庄市は豪雪地域で冬場（特に早朝）の送迎は危険なのでタクシー券などの助成をしてほしい

【置賜地域】

業 種	・ 監理団体
組合員	・ 20数社（建設業、製造業、食品加工業、農業で構成）
現地送出機関を 選ぶ視点	・ 実際に現地に出向き、組織運営を見て確認 ・ 現地の日本語学校の授業を見ることが重要
監理団体を選ぶ 視点	・ 監理団体が何年技能実習生を受け入れてきたか聞くこと（組合員の利益を目的に長年（17年以上）受け入れてきた団体は信頼できる）
行政へ望む支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技能実習・特定技能に関しては監理団体の方がノウハウがあるので特にない <多文化共生社会の実現に向けて> ・ 地域の方々に身近にいる外国人のことを知ってもらう、理解してもらう施策が必要 ・ 定住しようとする外国人の家賃の定額補助など、外国人に住みたいと思ってもらえるようなメリットの提供が必要 ・ 不動産やハローワークの紹介にとどめることなく、家や職が見つかるまで、寄り添った支援が必要 ・ 外国人児童と日本人児童がすぐに打ち解けられるような工夫が必要

【庄内地域】

業 種	・ 縫製業（株式会社）
外国人従業員	・ 25人（全員が技能実習・ベトナム）
住環境	・ 会社所有の寮
通 勤	・ 自転車や徒歩
生 活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事は自炊 ・ ごみは会社のごみとして業者が収集 ・ 病院へは取締役が同行（これまで夜中に急病になった従業員はいない）
日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入国後1か月間、監理団体が実施する教室で勉強 ・ 会社主催の日本語教室は実施せず、監理団体が日本語教室を開催
地域との交流	・ 自治会の夏祭りの無料チケットの提供を受け、何人か参加
行政へ望む支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、民間アパートを借りようとしたが不動産会社に取り合ってもらえなかったの で、市営住宅を提供してほしい ・ 技能実習1号から2号に移る際に受検する「技能検定基礎級」の設問が業務と関係 ないものが多いので見直しをしてほしい